

文化財散策マップ

～町の中央部の文化財を訪ねて～

町の中央部には出雲伊波比神社をはじめ、数多くの中世の史跡や権田直助、川村頌布など郷土出身の人物にかかわる史跡が残されています。お散歩気分でお文化財を訪ねてみませんか。



〈一口メモ〉

●齊藤氏館跡（埼玉県選定重要遺跡）

斎藤氏の祖である斎藤美濃守富長が天文年間（1535年頃）にこの地へと移り住み、館を構えたといわれます。東西約105m、南北約85mと推定され、現在でも民家を取り囲むように土塁が残存しています。

●妙玄寺：毛呂氏供養塔（毛呂山町指定文化財）

天文2年(1532年)に毛呂顯繁夫人が創建したといわれ、在地領主であった毛呂氏と深い係わりを持っているのが妙玄寺です。江戸時代の文献には、毛呂氏一族の墓(供養塔)が多数建てられていたことが記されていますが、現在でも境内の一面には宝篋印塔や五輪塔が残っています。

●高福寺：木造阿弥陀如来坐像（埼玉県指定文化財）

かつてこの場所に並んであった行庵寺と高福寺とを慶長年間（1605年頃）に併合して行庵山高福寺となりました。現在、山号は安楽山と改められましたが、廃された行庵寺の本尊であった仏像が現在の木造阿弥陀如来坐像です。この仏像は、平安時代のもものと比べてやや写実的であり、鎌倉時代の新しい感覚が認められ、慶派の仏師による作品に似ているともいわれる秀逸な作品です。このほか本尊の木造伝聖観音菩薩坐像は、毛呂山町指定文化財です。

●出雲伊波比神社とやぶさめ

出雲伊波比神社の本殿は、大永8年(1528年)に毛呂顯繁により再建され、一間社流造の建築様式を今に残し、県内最古の寺社建築として国の重要文化財に指定されています。また、天正16年(1573年)に八王子城主北条氏照が当社宛に対して、武器製造のため梵鐘を差し出すよう命じた「北条氏照印判状」は町の指定文化財となっています。

本殿の西にある馬場では、毎年11月3日の例大祭の日に、やぶさめが奉納されます。このやぶさめは康平6年(1063年)に源頼義、義家親子が奥州平定の際の、凱旋の折り、戦勝の御礼にとやぶさめを奉納したのが起源と言われています。現在、埼玉県内で毎年行われているのは出雲伊波比神社だけとなり、埼玉県の無形民俗文化財に指定されています。



～ 文化財散策モデルコース～ (約5.5km、所要時間2時間3分～3時間)

中央公民館 → 繪庭築師 → 村田和泉守館跡 → 齋藤氏館跡 → { 古宮神社
古宮遺跡 } → 毛呂城跡 (山根城跡)

→ 妙玄寺 { 毛呂氏供養塔
川村碩布の墓 } → 高福寺 { 木造阿彌陀如來坐像
伝聖観音菩薩坐像 } → 榎 堂 → 權田直助生地 (毛呂氏最初の居)

→ 大師堂 → 出雲伊波比神社 → 中央公民館